

会議議事録(抄)

会議名	2022年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第二回情報処理科教育課程編成委員会
開催日時	2022年11月25日(金)15時40分~17時00分
会場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下1階 テラホール
参加者	<p><外部委員> 経塚 真裕 (ソフトビューベリオン株式会社) 片山 善久 (株式会社エフ・エム)</p> <p><内部委員> 井坂 昭司(専門学校東京テクニカルカレッジ 情報処理科科長)</p>
	<p><系別分科会>(第二部)</p> <p>1.議長挨拶 井坂より挨拶 2.前回(系別分科会)議事録の確認 3.意見交換 2つの専門性を学ぶことの有効性 応用開発を行う学びの場の有効性 オンラインの環境と今後の動向</p>
討議内容	<p>1. 2つの専門性を学ぶことの有効性など</p> <p>【片山委員】 マイナス面を補うという点では良い。 データサイエンスの議事録の最初に IT の知識がなくて…という一文が目に入った。 最初に情報処理を勉強してからデータサイエンスや IoT に行った方が良い。</p> <p>【井坂】 データエンジニアリングのスキルがある程度ある状態でデータサイエンスに入ったり というのはあり。</p> <p>【片山委員】 データサイエンスは大学だと統計から入ってデータをいじる流れ。 情報処理を学んでいる人間がデータサイエンスに入っていくのも差別化になって良いのではと思う。</p> <p>【井坂】 IT は色々な分野に分かれるが、どういった分野との組み合わせが求められるか。</p> <p>【片山委員】 あまりにも業態が多いので、ニーズが多いかどうかだと思う。 企業側が何を求めているかがわからないと難しい。 企業で明確に人材像があるのであれば良いが。 技術をしっかり持っていれば何にでも応用が利くので、そういった人間を育てた方が マッチングしやすいかも。</p> <p>【井坂】 建築を勉強して IT 業界にいる人は意外と多かったりする。</p> <p>【経塚委員】 地震がきて増えた。</p> <p>【片山委員】 友人は掘削の機械を作っている。 そういう技術に IT が絡みすぎて進化している。</p>

【経塚委員】

10月にシリコンに行ってきた。
日本に危機感を感じている。
スピードを求められているが、日本企業は追い付いておらず、日本人は何のネットワークもつけない。
コミュニケーション力、イノベーション、リーダーシップが必要。

面接でリーダー経験があるかを聞く。

一回でもある人は社会に出ても何とかやれていくが、一回もない人はやはりどこかでつまずいてしまう。
有名大学を出ている子でも肝心な報連相ができなかったりするので、
そういうコミュニケーション能力を学ぶ時間をぜひ取り入れてほしい。

業界を色々見せるのは賛成。

視野を広げるのは良い。

今の子どもたちは分野の雑学がなさすぎるので強みになるのでは。

【井坂】

今の学生は無知。

【片山委員】

それは専門学生だけでなく大学生も同じ。

【井坂】

昔の学生の方が、勉強はダメでも周りのことはよく知っていた。

【片山委員】

新聞を読まなくなったのも問題。

新聞はめくるだけで興味のない情報も入ってくる。雑学として大事。

常識がないのは深刻な問題。

常識がなくなってしまうと、お客さんと話せない。

お客さんの前に出すまでにどう教育すれば良いか。

【井坂】

コミュニケーション力もある人材を育てたいと思うが、2年間でというのは難しい部分。

他にも低学力や精神的な問題を抱えている子どもも増えているので、そういった子どもたちをどう育てていくか。

【片山委員】

精神を病んでいる子どもが多いのは、会社としても問題になっている。

離職率はあまり変わっていないが休職率が上がっているデータがある。

【経塚委員】

離職率は今後変わらないと思う。20~25%あたりが普通になってくる。

企業としては魅力をつけていくこと。人材会社は強気。

GAFGAがリストラを出してきている、富士通も出して、日本企業もこれから続いていくと思う。

売り手市場がどうなるのかが見えていない。

日本は人材不足と言われているが、新卒は絞られると思う。

来年から景気がものすごく悪くなると言われているが、

どういう時代になるか見定めていかないといけないと思っている。

【片山委員】

国があの記事を見てどう思うのか。

日本は働き方改革をしている限りはある程度は守られると思う。

ただ今回で、あの大企業が半分人を減らしても企業は回ると日本の企業がわかったときに

真似する人たちが出てくる。そうなると失業者が出てきて、流行りになるのでは・・・

必要ない人たちがいることに気づいたら

【経塚委員】

ジョイントするのは優秀な技術者をつくるという意味では良いと思う

【井坂】
組み合わせでその先(仕事)までみせられればと思っている。
2+2 のパッケージが学校としてはやりやすい。
出口まで示せれば良いのかなと思う。数人希望する人がいれば。

【経塚委員】
エンドユーザーは古い人たちばかり。
技術も新しい。
育った人たちがエンドユーザーにとられる。

後2年のあいだで3業界みせてあげても良い。

【井坂】
やれば良いが体力的に厳しい。

各科30人のうち2~3人が+2年の方に流れれば40人なるので
そういうかたちでつくっていきたい。
他校では難しいことだと思うので差別化になるかと思う。

2. 応用開発を行う学びの場の有効性など

【井坂】
いきなりスタートアップを入れるのは厳しいから、外部のインキュベーションを入れる。
半年ごとのスパンでいつ卒業しても良いというような。
就職が決まったら出ていくかたち。

【経塚委員】
良いと思う。

【片山委員】
できる子はマッチするが、それほどできない子は逆に就職できなくなるのでは。

【井坂】
昔の研究科はそれもあった。就職できないから研究科に入るような。
なので条件を設けて線引きはしていきたいと考えている。

学校としては質を上げようという流れだが、現場はそういかないこともある。

【経塚委員】
平均的なボトムアップをしたいのか。
優秀な人材をつくりたいのか。

【井坂】
両方だが、全体的に質も落ちてきていてどの専門学校も問題になっているのが現状。

【経塚委員】
先生たちに安心していただきたいのは、マーチ基準でも質は本当に落ちている。
なので専門学校だからという話でもなく、落ち込まなくて良い。

【片山委員】
同感。
エスカレーターの子たちは全くできない。

【井坂】
コロナ禍で教育を受けてきているので、簡単に休む。

【経塚委員】
それはある。国も休みなさいという制度をつくってしまうので。
日本はいればお金がもらえる。
アメリカだと成果主義なのでスピードが絶対条件。

日本は労働者を守ろうという方向にばかりいくので、質も落ちる。

【井坂】

学生をみてても、スピードも考えるように言っても遅い子は遅い。

【経塚委員】

効率化の部分は企業側がそれぞれノウハウを持っているのでどうになる。

例えばショートカットキー。覚えのない子はずっと覚えがないが、うちはショートカット研修がある。

【片山委員】

うちもショートカットキーの研修をやっている。

【経塚委員】

ショートカットだけでなくブラインドタッチもできるように言っている。

【井坂】

全体的に受け身になってきている。

先生に言われたことを自分のものにして活かそうということをしなない。

41 社オンライン授業の中で、聞いていて分からない専門用語を書きだして調べろといっても調べない。とにかく指示を出さないとやれない。自主的には動かない。

【経塚委員】

企業は大体数生き残らせないといけない時に、リストラせざるを得ない。

そういう受け身の子は対象になってしまう。

【片山委員】

バブルもリーマンショックも経験してきたが、本当に世の中はあつという間に変わってしまう。

切られる人間とそうでない人間は明確に分かれる。

【経塚委員】

やはり3年前あたりから学生の質は落ちているのか。

【井坂】

年によって違いはある。

ただ精神的に弱い子は多い。

【経塚委員】

たしかに昔よりは多い。

【片山委員】

企業は診断書が出された時点で、連絡を取らない。

連絡するのは総務だけ。

【経塚委員】

うちは実家の人は1週間に1回、一人暮らしの人は2日に1回連絡はとる。

【井坂】

学校も深入りはできない。

どの学科もそういう学生が増えてきている。

【経塚委員】

イベントを少しやるようになったら減ってきた。

3. オンラインの環境と今後の動向

【井坂】

zoom を使っているが、
対面の代わりはできない。

【片山委員】

うちは裏でチャットをやっている。
でも仲の良い子たちは積極的にコミュニケーションを取るが
そうでない子は除け者にされるなど、良し悪しだがないよりはまし。

【井坂】

メタバース的な環境は、企業で利用はしないのか。

【経塚委員】

これから出てくると思う。
メタバースはこれから局所的なものがどんどん上がってくる。
アメリカではメタバースは落ちてきている。
大規模メタバースをつくろうとしたが、費用がかかりすぎると用途が決められていないものは落ちる。

用途が決められた局所的なメタバースは発展する。
用途が決められていて、決まった人しか入ってこない環境は良い。

AI はまだまだ伸びる可能性。

【井坂】

2 年間で Web アプリをつくることにしている。
メタバース空間とショッピングサイトはマッチングするような気もするが。

【片山委員】

ショッピングの場合は比較しながらなので、わざわざメタバースに入らなくてもというのはある。

【井坂】

情報処理科としてはまだそれをつくる技術を入れなくて良いか。

【片山委員】

これからではないかと思う。

【井坂】

動向は見ていった方が良いということですね

以 上